



**A ATLANTIC  
PACIFIC**

インパクトレポート

協働

一般社団法人

根浜

MIND

# Atlantic Pacific Japan 2020

コロナウイルス感染拡大とそれに伴う移動制限等により、Atlantic Pacific Japanは当初予定していた、東北の岩手での対面で行う夏の活動を実施する事ができませんでした。移動制限やソーシャルディスタンス等のコロナウイルス感染対策を考慮し、Atlantic Pacific Japanは釜石、そして日本全国、さらに世界中の若者を対象としたオンラインでの教育プログラムへと計画を変更しました。

これらの教育プログラムは対面からオンラインへ変更となっても尚、当初の事業目的である、楽しく興味深い教育プログラムを通じた、釜石 根浜の人々の海との繋がりの強化と、人々の海に対する興味の喚起ができるよう設計した。

本プログラムは、海に関わることを通して、人々の海に対する自信を取り戻し、この素晴らしい海の保護に向けた関心を高める事で、釜石とその沿岸部の再生のため前進する事ができる。

## プログラムを通して

753名の若者と、海のスカウトプログラム、オンライン実施のプログラム、ファミリーデーを通して交流。

1457名の4-10歳の子供達に、海で安全に過ごすための知識と海洋汚染問題について学ぶことができる塗り絵とカートゥーンアニメーションを配布。

プラスチック削減のための、「Atlantic Pacific プラスチック削減誓約」WEBページを制作。

海の安全に関する教育プログラムの開発（釜石の中学校で実際に実施）。

釜石、海での安全、海洋汚染についての動画を全14本制作。Atlantic Pacific Japanのパートナー団体は、教育や奉仕活動にこれらの動画をいつでも使用する事ができる。

海での安全と海洋汚染についてのパワーポイントプレゼンテーションを作成。プログラム参加者は、このプレゼンテーションを用いて、自分の地域コミュニティに海に関する知識を広める事ができる。

実施したオンラインプログラムで、参加者から100%前向きな反応・感想を得た。

釜石の主要な5つの団体との関係性の強化と新しく16の団体と関係性の構築。

釜石の学校のカリキュラム内で、2021年度にAtlantic Pacific Japanプログラムを実施する様、オファーを受けた。

# APT TV コンテンツ制作

Atlantic Pacific Japanは釜石や東京のパートナー団体と密接に協力し、釜石や海で安全に過ごすための知識、海洋汚染問題などについての14本のバイリンガル(英語と日本語)の動画の制作に取り組みました。これらの動画はオンラインのプログラム提供の際に利用されました。

一般社団法人根浜マインド、宝来館、いのちをつなぐ未来館、釜石市復興推進部本部事務局、釜石ヨットクラブ、藤勇醸造、釜石漁業共同組合、東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター、UWC Atlantic、My Mizu、ラグビーワールドカップ、Beach Academy釜石、根浜町内会、釜石の学生の方々と協力し、Atlantic Pacific Japanは東日本大震災の災害対応と復興、プラスチック汚染、海で安全に過ごすための知識について認識や関心を高めるための動画を制作しました。

今回制作した動画はAtlantic Pacific Japanをはじめ、パートナー団体が東日本大震災についてや釜石や岩手沿岸部、海での安全についての周知を広めるために、いつでも利用する事ができます。

動画  
本数 **14**

協力パ  
ートナー数 **14**



# Atlantic Pacific Japan グローバルリーダーシッププログラム

Atlantic Pacific Japanのグローバルリーダーシッププログラムは挑戦的でありつつも学びの多い、やりがいのあるプログラムです。本プログラムは地球を形作り、地球に大きな影響のある、特に海や気候変動、自然災害などの近年ますます深刻な問題となっている事柄に焦点をあて探究します。

東日本大震災・津波・釜石・気候変動・海洋汚染・自然災害などがどの様に関連しているのかについて学ぶ本プログラムは、国内外の学生を対象にしました。

英語で実施された本プログラムの制作や翻訳、そして実施には釜石の高校生や大学生も携わりました。

応募者数 **203**

参加者数 **159**

## 日程

**2020年8月17-19日**

毎日4時間、合計12時間

**2020年9月15-17日**

毎日4時間、合計12時間

**2020年8月3日、8月10日、9月14日**

各2時間、合計6時間(関西大学との共催)

## 感想

この詳しく学べるプログラムを通して、私たちの海をさらに感謝することを学びました。

知識を深めるだけでなく、関心を広めるためにもこのようなプログラムにもっと参加するべきだと思います。

このプログラムを通してこれまで知ってはいなかったもの、話あう事のなかった問題に対して熟考しました。

## 参加者国籍

日本、フィリピン、中国、マレーシア、英国、ベルギー、インドネシア、シンガポール、カナダ、台湾、アフガニスタン、イタリア、ニュージーランド等



# Atlantic Pacific Japan サマーキャンプ・スプリングプログラム

Atlantic Pacific Japanのサマーキャンプとスプリングプログラムは国内外の学生と地域の学生を対象に、日本の沿岸部、特に釜石にまた賑わいが戻り多くの人が関心をもつよう設計されました。

釜石を東日本大震災の津波からの復興に取り組んできたコミュニティだということ、そして在り続けるために観光業とそれに伴う観光客が必要だということをハイライトしました。

さらに、本プログラムは海で安全に過ごすための知識やプラスチックを主とした海洋汚染問題にも焦点をあてました。本プログラムは日本語と英語で実施されました。

参加者数 **49**

応募者数 **79**

## 日程

**2020年8月11-13日**

毎日4時間、合計12時間

**2020年8月24-26日**

毎日4時間、合計12時間

**2020年8月27-29日**

毎日4時間、合計12時間 (文京学院大学女子高等学校との共催)

**2020年9月1-3日**

毎日4時間、合計12時間

**2021年3月22日、23日、25日、26日**

毎日2時間、合計8時間

## 参加者国籍

日本、中国、インドネシア、  
ニュージーランド



# Atlantic Pacific Japan サマーキャンプ・スプリングプログラム

## サマーキャンプ感想

海での安全や危険、4つのルールなど、このイベントに参加しなければ分からないことがたくさんありました。

私は海の近くに住んでいるので毎年死亡事故が相次いでいました。なぜ死亡事故が起こるのか、溺死の原因は一体なんなのかを考えさせられ、自分がどのような行動をすればいいのか学べたので良かったです。

私は、小さい頃から動物が大好きで多くの動物を飼ってきました。そのため、海洋問題には多くの動物の命が失われていることを改めて知りすごくショックでした。しかし、私たちが起こした問題は私たちが解決する。それを合言葉にし、プラスチックを今後もっと減らしたいと思います。まずは、自分が発信源になりたいと思います。

## スプリングプログラム感想

自分が知らなかった水災害時での対策を細かに知ることができ、また環境への配慮についても学ぶことができた。

様々な観点から環境問題を知ることができた



# Atlantic Pacific Japan 海のスカウトプログラム

海のスカウトプログラムは釜石の地域の子供達がUWC Atlanticの生徒とのピアラーニングを伴う国際交流を通して学ぶよう設計されていました。

釜石の教育委員会との連携で、英国ウェールズのUWC Atlantic Collegeの45名の高校生が釜石の中学生に海で安全に過ごすための安全知識と海洋汚染について各1時間のセッションを英語で行いました。

そして、釜石の中学生はその後、釜石の海や自然、文化についてのプレゼンテーションを英語で行いました。

## 日程

**2021年1月22日**

唐丹中学校 中学2年生

**2021年1月29日**

釜石東中学校 中学2年生

**2021年2月5日**

甲子中学校 中学2年生

**2021年2月12日**

釜石中学校 中学3年生

**2021年2月19日**

唐丹中学校 中学3年生

**2021年3月5日**

大平中学校 中学2年生

合計参加者数

45 UWC Atlantic  
の高校生

143 釜石の  
中学生

## 感想

海の知識として初めて知ることが多かったのも、まだまだ調べる事があると思った。(唐丹中学校生徒)

イギリスの人たちも聞きにくかったかもしれないけれど、リアクションをとったりして話を聞いてくれたのでとても楽しかったです。自分は、海のルールを教えてもらって、こっちでも真似して心がけていけるような事だったので、それを意識して海を利用していきたいし、またこの様な機会があったら積極的に参加したいと思いました。(大平中学校生徒)

海洋汚染についての発表を聞いて、ゴミを海に捨てるとそれを魚が食べてしまい、自分たちもその魚を食べる事でプラスチックを食べているという事が一番印象深かったです。ビニール袋を使わずにマイバッグを使うなど、自分ができることで環境問題の解決に協力したいと思います。(甲子中学校生徒)



# Atlantic Pacific Japan ファミリーデー

①2020年7月23-26日  
(25日は雨天により中止)

Atlantic Pacific Japanは一般社団法人根浜マインドやライフガードなど、釜石の海に関連する団体との協力で根浜海岸開催の「根浜あおぞらビーチパーク」でブースを出し、またウェールズ号(レスキューボート)の体験乗船を実施しました。

イベントを通して合計309名がブースを見学し、33名が救命ボートに体験乗船しました。参加者は、ウェールズ号クルーと共に安全な状況で乗船を楽しむ事ができました。地域の子供達やその親御さんたちに根浜海岸にあるレスキューボートとAtlantic Pacific Japanについて関心を持ってもらう素晴らしい機会となりました。

また、子供達は海で安全に楽しむ方法を学ぶこともでき楽しい時間を過ごしていただけた様子でした。

一般社団法人

根浜  
MIND

## 感想

楽しかった! また乗りたい!

日本に1艇しかないボートが  
根浜にあるなんてすごい!

②2020年11月8日

Atlantic Pacific Japanは一般社団法人根浜マインドと連携して、11月8日に英国式レスキューボート体験のファミリーデーイベントを開催しました。地域の子供達とその親御さんを対象に海や海で安全に過ごすための知識を学びながらウェールズ号の体験乗船会を開催しました。

クルーが各3名ずつ乗せて5回、合計15名が乗船しました。体験乗船の前後には、ライフジャケットやヘルメットの装着方法など、海で安全に過ごすためには何をすべきなのかを学び、安全な状態でウェールズ号乗船を楽しみました。

合計

48名がWales Go(根浜海岸にある救命ボート)に乗船





# Atlantic Pacific Japan マスコットキャラクター、塗り絵、アニメーション制作

Atlantic Pacific Japanは海で安全に過ごす方法や海洋汚染について子供達が楽しく学ぶと同時に根浜海岸の周知を広めるためにマスコットキャラクターを開発しました。まなみ(女の子)とイルパン(イルカ)とアカクン(かめ)の3人のキャラクターが海で遊ぶ事の楽しさ、そしてそこには危険があるが、どうすれば安全に過ごす事ができるのか、またどの様に海を保護するのかを教えてください。

日本財団「海と日本プロジェクト」の一貫で、Atlantic Pacific Japanは2カ所の釜石の学童に塗り絵を配布しました。この塗り絵は小さい子供達がどうやったら安全に海で楽しく遊ぶことができるのかを考えると共に、根浜海岸(塗り絵の物語の舞台)に親しみをもつ様にデザインされています。

また、Atlantic Pacific Japanは塗り絵に加えて、マスコットキャラクターを用いた3つのカートゥーンアニメーションを制作しました。それぞれ、海での安全について、海洋汚染について、ライフゼービング活動についてのアニメーションです。このアニメーションを制作するにあたり、地域の高校生が声優としてキャラクターの声を担当してくれました。アニメーションも学童に配布され、オンラインでいつでも視聴可能です。

## 感想

塗り絵がとても楽しかったです。また学童にも来てください。(小学2年生)

今回塗り絵をさせていただきありがとうございます。しっかりとルールを覚えられそうです。(小学3年生)



Atlantic Pacific Japan  
マスコットキャラクター、塗り絵、アニメーション制作

参加者

**1000**部の塗り絵が釜石の小学生に配布され、**1257**名の釜石の小学生にアニメーションが配布されました。



# プラスチック削減プログラム

Atlantic Pacific Japanは実施した全てのプログラムで、海とそこに住む海洋生態系の保護のため、プラスチック消費を削減するようプログラム参加者に勧めました。

グローバルリーダーシッププログラム、サマーキャンプ、スプリングプログラム、海のスカウトプログラムでのプレゼンテーションは全て、プラスチックが海や海に関係するもの全てに与える影響に焦点を当てており、それぞれのプログラムの最後には、参加者は皆、プラスチック削減に取り組むことに同意しました。

さらに、Atlantic Pacific Japanはウェブサイト上にプラスチック削減に特化したページを作成しました。「Atlantic Pacific プラスチック削減誓約」ページでは、誰もが自分自身を登録することで、プラスチックゴミ削減を約束します。

Atlantic Pacific Japanプログラム全参加者に、日々消費し、最終的には海やその他の自然環境を害するプラスチックの削減を誓約するよう呼びかけました。

また、Atlantic Pacific Japanは釜石の地域でプラスチック削減に取り組むため、Love Our Oceansワークショップを実施しました。ワークショップの一貫として、参加者は釜石の町に出て、レストランやお店を周り、地域の人々のペットボトル利用を削減するためにお店に給水スポットになってもらえるよう聞いて周りました。

また、Atlantic Pacific Japanが制作したカートゥーンアニメーションのうち一本は、海洋汚染とプラスチック削減に焦点を当てており、1257名の釜石の子供達に配布されました。



## LOVE OUR OCEANS ワークショップ概要

LOVE OUR OCEANS は二日間にわたるワークショップです。

1日目では私たちが普段何げなく使っているプラスチックが、海とそこに生きる生物にどのような影響を与えているのかについて学びます。町にある給水所を探し、無料給水所マップを作成します。出来上がったマップをMy Mizuのアプリに載せ、この場所をプラスチックレスの町にしましょう。

2日目では、プラスチックレスの暮らしのアイデアをグループで話し合い、アイデアを発表するコンテストを開催します！コンテストに優勝してMy Mizuのボトルをゲットしよう！

対象：中学生、高校生

場所：釜石情報交流センター、TETTO (後日詳細をお送りいたします)

日時：コースは二日間にわたります。以下の日程から1日目、2日目それぞれ希望日を選択して下さい。

1日目：8/8、8/22、8/23 (14:00～17:00)

2日目：8/22、8/23、8/30 (14:00～17:00)

※8/22 8/23は1日目、2日目のコースを1日でどちらも開催しますが、同時に開催となりますので、それぞれ別日を選択してください。

主催：一般社団法人Atlantic Pacific Japan

共催：一般社団法人 根浜MIND

お申し込みはこちらから！

ATLANTIC PACIFIC Facebook





## 協力

2020年度のプログラムを通してAtlantic Pacific Japanは以下の21の団体と協力し、パートナー団体を増やしました。

一般社団法人根浜マインド、宝来館、いのちをつなぐ未来館、釜石市役所（復興推進部本部事務局）、釜石市教育委員会、釜石ヨットクラブ、藤勇醸造、釜石漁業共同組合、東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター、UWC Atlantic、My Mizu、ラグビーワールドカップ、Beach Academy釜石、根浜町内会、ゴールドウィン HELLY HANSEN、関西大学、文京学院大学女子高等学校

 UWC  
ATLANTIC COLLEGE

根浜町  
28  
日本ユネスコ協会

230-552





[www.atlanticpacific.org.uk/ja/](http://www.atlanticpacific.org.uk/ja/)



**ATLANTIC  
PACIFIC**

一般社団法人  
**根浜**  
**MIND**



**海と日本**  
**PROJECT**